



## 市営球場(安曇野市スタジアム)建設の提案

高山 一 議員

**社会教育と  
スポーツ振興について**

**Q** 青少年の健全育成のためにはボランティア活動のなかで各種団体の皆さんがスポーツを通し子供達の教育をしています。社会教育スポーツ振興に対する今後行政としての取り組みについて、また体育協会とのかかりについて。

**A** (市長)さまざまな方々が子供たちの健全育成のためにかかわっていただいています。これから子供達が健やかに育つなか、スポーツの振興ということは大変大切なことであり、市民皆スポーツというような流れにつながっていけば健康増進にも大いに役立つと考えます。真剣に取り組む対応していきたいと思っています。

**A** (教育次長)新年度社会教育課内にスポーツ振興というような係も設置を予定しています。体育協会関連も18年度予算前年度並み計上、スポーツ団体は基本的には体協に参加をし

ていただき活動していただくようお願いしていきたい。

**スポーツ施設  
(総合スポーツ  
講演構想)について**

**Q** 構想の一つとして市営の球場(安曇野スタジアム)を企画計画してはどうか。安曇野市内には正式な球場がない。たまたま明科押野山に高速道路(長野道)の建設の折り土取り場あと地(市所有地)がある。有効活用してはどうか。

**A** (市長)「野球場の提案場がなかったのかという思いもある。体育施設あるいはスポーツ公園、球場等要望多分あるだろうと思う。市としての方向も今後検討してまいりたい。提言いただいた押野地籍ですが一つの選択肢として認識させていただき、今後とも努めてまいりたいと思う。

**A** (教育次長)スポーツ公園構想は検討していくべき事項だと思ってい

してある土取場は8・4ヘクタールある。球場スポーツ施設については、市長申しましたとおりこれからの検討課題というよう

**道路整備事業と河川水路  
改修整備事業について**

**Q** 県道明科穂高線の道の東の玄関口でもあり主要東西線である。測量設計等

**A** (都市建設部長)常盤成12年地元説明会が行われ、測量設計等の了解を得ていたが、県の財政状況と公共事業費削減のため、道路については先きおくり、常盤橋については既に45年を経過、老朽化が進んでおり、巾員5メートルと狭く早期事業化されるように、県に要請していきたい。

**A** (産業観光部長)北穂高地区河川水路改修事業については、県と十分に協議して進めてまいりたい。



## 行政改革に伴う総合庁舎建設について

小林 紀之 議員

**市総合庁舎の  
早期建設を求める**

**Q** 安曇野市が誕生して五カ月が経過した。

議会、市長部局・教育委員会等の本庁機能は、元南安自治会館・県南安合同庁舎一部借用・各総合支所に分散(分庁方式)をしている現状がある。

行政の組織には、縦の命令系統・横の連絡があるが、その行政組織の確立や要求されるスピード性から見て、行政運営上不都合と非効率を招いていないか。また、市民から「各部に

関わる専門的問題が支所では解決ができません都合である」との声を多く聞く。八百兆円にも上回る国の借金の結果、三位一体の財政改革・地方への財源委譲・地方交付税や各種補助金の削減が想定される不透明の状況下、人件費削減をするため、また、市民の一体感を図るためにも市総合庁舎の早期建設は必要と考えるがどうか。

**A** (市長)市総合庁舎建設については安曇野地域合併協議会で大きな課題として協議がされた経過がある。

分庁方式でスタートはしたが、今日地方自治体改革・行財政の効率化は極めて大きな課題である。折から定員や人件費等の総枠の見直しの命題もある。庁舎建設は早期に目処をつけなければならぬ問題であると思っている。

市民の利便性やサービスを考え、規模・場所・内容等を詰めて建設構想を立てたい。同時に本庁舎のみならず、老朽化・狭隘化等が進んでいる支所についても、今後の利用も含め総合的に検討をしたい。四年間の間に市民合意ができ、建設・竣工できれば嬉しいことであると思うが、そこま

でいかなくても道筋・実施の計画は、できるよう努めたい。

**市と区の関係について  
区への市民参加を求め  
市行政の対応を伺う**

**Q** 市民の社会生活環境

は、核家族化が進み高齢者家庭が増えている一方、個人権利の主張を唱えて、区に参加されない方が大変多く見られる。

今後の社会情勢・経済の動向・地方行政のおかれた状況を踏まえるなか、市民の安心・安全の暮らしには、なにより市民と市民が協力し合う住民協働が、益々重要であると考え。市民が区・自治会に参加を義務づける条例の制定、もしくは参加宣言により区への市民参加を求めるための意思を示す考えはないか。

**A** (助役)条例制定は憲法上、大変難しい課題である。従って参加されない方にご理解をいただくよう、市としても一生懸命努力をして行く。



## 防災対策と危機管理について

宮下 明博 議員

**Q** 平成14年に公表された、糸魚川静岡構造線による想定地震では、震度7の地震により、建物、人的に甚大な被害が及ぶとされ、想定では安曇野市全体で死者263人、避難者3万1510人という数値が示された。そこで防災対策、危機管理といったことが重要課題になると思われる。市長に防災対策、危機管理に関する基本的な姿勢を聞きたい。

**A** (市長) 災害発生を未然に防いで被害をさらに軽減していくために、防災に関する計画とその策定を推進することは、大変大きな責務であると思っている。行政の責務というものは本来市民の生命、身体、財産を災害から守ることであり、常に防災についてもその時々の時点で最善を尽くしていかねばいけないということと言いつてもないと思う。災害用備蓄品の現在の保管状況及び今後の計画について。

**A** (総務部長) 現在、米類、めん類、乾パン類で約1万2,000食ある。毛布類が1,120枚、飲料水用袋が5,500枚、肌着が300セット、発電機及び投光機が9台、ヘルメットが200個、ほかには救急箱担架、紙おむつ、排水ポンプ、増水機、油圧ジャッキなどがある。

**Q** 安曇野市地域防災計画のスケジュールと計画概要について。

**A** (総務部長) 新年度には、安曇野市防災会議を立ち上げ、18年度内に安曇野市地域防災計画を作成していく予定。

**Q** 現在の自主防災組織の設置状況はどうなっているのか。

**A** (総務部長) 2月末現在で83行政区中40の行政区において組織化をしており、組織化されていない地域では職員が支援をし、組織化を図っていく。

**Q** 高齢者や障害者が安全に避難できる体制を確立するためには、要援護者の実態を把握することが

必要になると思うが、個人のプライバシーの保護の関係上どのように対処するの

**A** (総務部長) 個々にアンケートをとる方法を考えているが、自主防災組織の方々からの助け合いがなければ要援護者の皆さんの命を守ることはできないと考えている。

**Q** 6つの庁舎に分散をされている安曇野市の現況を踏まえ、危機管理のあり方について対応策を再度市長に聞きたい。

**A** (市長) 組織上、防災と一緒に考えているものを危機管理室を置いて独立させたいと考えている。ここを中心に今後の防災対策、危機管理の体制をどう構築していくかということについて、積み重ねを行っていききたい。

(要望) 安曇野市10万市民の生命・財産を守り、安心・安全な市民生活を確保する上からも防災対策の強化と危機管理意識の啓発への取組を要望する。



## 安曇野市まちづくり計画の進め方について

吉田 〇男 議員

**Q** 安曇野市総合計画の進め方について。また市憲章、キャッチフレーズ等の決定はいつ頃か。

**A** (市長) これから安曇野市発展の基として、次の世代を担う子供たちや市民、民間の皆様方のご意見・意向というものをしっかりと入れながら、安曇野の将来が、合併の目標である安曇野の豊かな自然環境・景観を守りながら、暮らしやすさと産業発展のバランスのとれた田園都市になるように、総合計画をつくっていききたい。市の憲章とかキャッチフレーズ、市花、市木を今後世論また議論を高める中、本当に将来に向けてずっとこれが我々の心の支えになるようなものを作り上げていききたい。

**Q** 創造文化都市の提案について

**A** (市長) 第一産業から第三次産業までいる

**Q** 文化による都市の活性化について、創造的仕事に携わる人材の力で市民の創造性を引き出し、環境と教育といった問題を解決していく文化都市の提案について。

んな形で連携しての安曇野づくりが必要と思っている。

**Q** 土地利用制度の検討策定について具体的などの様な形で進めていくのか。

**A** (都市建設部長) 現在、庁内の関係職員により、職員が同一のレベルで推進できるように情報収集や勉強会を行っている。新年度の早い時期に検討委員会を設置したい。構成は、自治会の代表、各団体の代表、学識経験者、公募委員などを予定している。

**Q** 市施設改築の優先順位について

**A** (健康福祉部長) 当面は3カ年実施計画に基づき、18年度には堀金保育園の用地取得を計画している。併せて有明保育園の改築については先日、建設整備検討委員会から2園化が望ましいという要望が出されているので、慎重に検討を加えた上で実施したい。

**Q** しやくなげ荘改築計画について、市観光行政の構築にかかわる問題であり、重要性が問われているが、今後の方針について。

**A** (市長) 一定のご理解を頂く中で、進めたい。